

2025 年度

上越総合病院 看護師特定行為研修
募集要項

術中麻酔管理領域
循環動態に係る薬剤投与関連



新潟県厚生農業協同組合連合会
上越総合病院

目次

I. 募集特定行為区分の概要	3 ページ
II. 研修スケジュール	5
III. 募集人員	6
IV. 受講資格	6
V. 履修免除	6
VI. 出願手続き	6
VII. 選考方法	7
VIII. 合格発表	7
IX. 入講の手続き	8
X. 個人情報の取り扱いについて	8
XI. 出願・試験・その他選考に関する問い合わせ先	8

I. 募集特定行為区分の概要

1. 上越総合病院における看護師特定行為研修の基本理念

少子高齢社会において、看護師の専門性やリーダーシップは、医療が提供される多くの場面で必要とされています。その求められる役割を果たすための人材育成が本研修の目的です。地域住民のニーズに応えることができ、医療の質向上に貢献できる看護師の育成を目指しています。

2. 上越総合病院で学ぶことが出来る特定行為区分

特定行為とは、診療の補助であって、看護師が医師の作成した手順書により行う場合には、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされるものとして定められた 38 行為のことをいいます。

上越総合病院では領域別パッケージ「術中麻酔管理領域」6 区分 10 行為と「循環動態に係る薬剤投与関連」5 行為について研修を行います。

【術中麻酔管理領域】

区分別科目	特定行為
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	●経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	●侵襲的陽圧換気の設定の変更 ●非侵襲的陽圧換気の設定の変更 ●人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 ●人工呼吸器からの離脱
動脈血液ガス分析関連	●直接動脈穿刺法による採血 ●橈骨動脈ラインの確保
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	●脱水症状に対する輸液による補正
術後疼痛管理関連	●硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整
循環動態に係る薬剤投与関連	●持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整

【循環動態に係る薬剤投与関連】

区分別科目	特定行為
循環動態に係る薬剤投与関連	●持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 ●持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整 ●持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 ●持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 ●持続点滴中の利尿剤の投与量の調整

3. 到達目標

【共通科目】

- 1) 多様な臨床場面において重要な病態の変化や疾患を包括的にいち早くアセスメントする基本的な能力を身につける
- 2) 多様な臨床場面において必要な治療を理解し、ケアを導くための基本的な能力を身につける
- 3) 多様な臨床場面において患者の安全に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実践する能力を身につける
- 4) 問題解決に向けて多職種と効果的に協働する能力を身につける
- 5) 自らの看護実践を見直しつつ標準化する能力を身につける

【区分別科目】

1) 術中麻酔管理領域

- (1) 医師の指示の下、手順書により、医療面接、身体所見及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、術中麻酔管理領域の特定行為ができるようになる
- (2) 多様な臨床場面において、医師の手順書による指示を受け、実施の可否の判断、実施及び報告の一連の流れを適切に行うための基礎的な実践能力を身につける

2) 循環動態に係る薬剤投与関連

- (1) 多様な臨床場面において、持続点滴中のカテコラミン、ナトリウム、カリウム又はクロール、降圧剤、糖質輸液又は電解質輸液、利尿剤の投与量の調整を行うための知識、技術及び態度の基礎を身につける
- (2) 多様な臨床場面において、医師の手順書による指示を受け、実施の可否の判断、実施及び報告の一連の流れを適切に行うための基礎的な実践能力を身につける

4. 特色

特定行為研修では、実践的な理解力、思考および判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技術の向上を図る必要があります。そこで上越総合病院では、病棟だけではなく HCU、ER、手術室など幅広く研修の場を提供できるようにしています。

学修方法として、全日病 S-QUE 看護師特定行為研修の e ラーニングによる自己学修に加え、学修日（時間）を 4 週間に 1～2 日程度設けています。学修の振り返りやリフレクション、講師への質問、受講者間の意見交換の場として活用できます。指導者（事務局）との面談もあり、進捗状況の把握や学びの環境の整備に役立てます。

実習は、実習場所として当院または所属する施設を選択することができます。（所属する施設で行う場合は協力施設としての申請が必要となります。）

Ⅱ. 研修スケジュール

1. 共通科目 250 時間（講義・演習・実習・試験）

科 目		総 時 間	研修内容 (時間数)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
共 通 科 目	1. 臨床病態生理学	30	講義 (27)	開講式						開講式
			演習 (2)							
			試験 (1)							
	2. 臨床推論	45	講義 (35)							講義
			演習 (8)							
			実習 (1)							
	3. フィジカルアセスメント	45	試験 (1)							演習
			講義 (39)							
			演習 (3)							
	4. 臨床薬理学	45	実習 (2)							実習
			試験 (1)							
			講義 (35)							試験
	5. 疾病 臨床病態 概論	40	演習 (9)							
			試験 (1)							
			講義 (34)							
	6. 医療安全学/特定行為実 践	45	演習 (4)							
			試験 (2)							
			講義 (22)							
			演習 (13)							
			実習 (9)							
			試験 (1)							

2. 区分別科目

1) 術中麻酔管理領域

研修期間 2025 年 10 月 1 日～2027 年 3 月 31 日（共通科目含む）

研修時間 87.25 時間（講義・演習・OSCE・試験）

			1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	32日			
区分 別 科 目	に 呼 吸 器 に 関 連 する 他 の 先 進 講 義 有	共通して学ぶべき事項	共通講義(4)																																	講義	
			講義(5)																																		
		経口用気管チューブ又は経鼻用 気管チューブの位置の調整	OSCE(1)																																	演習	
			実習																																		
	呼 吸 器 （ 人 工 呼 吸 機 に 係 る もの） 関 連	共通して学ぶべき事項	共通講義(5)																																		
		侵襲的陽圧換気の設定の変更	講義(4)																																		
			演習（2）																																		実習
			実習																																		
		非侵襲的陽圧換気の設定の変更	講義（4）																																		
			演習（2）																																		試験
			実習																																		
		人工呼吸管理がなされている者 に対する鎮静薬の投与量の調整	講義（4）																																		
			演習（2）																																		修了式
			実習																																		
		人工呼吸器からの離脱	講義（4）																																		
			演習（2）																																		
			実習																																		
	動 脈 血 液 ガ ス 分 析 関 連	共通して学ぶべき事項	共通講義(5)																																		
		直接動脈穿刺法による採血	講義(4)																																		
			OSCE(1)																																		
		横骨動脈ラインの確保	実習																																		
	講義(4)																																				
	に 関 連 する 他 の 先 進 講 義		OSCE(1)																																		
			実習																																		
	術 後 疼 痛 管 理 関 連	共通して学ぶべき事項	共通講義(6)																																		
		硬膜外カテーテルによる鎮痛剤 の投与及び投与量の調整	講義(4)																																		
			演習(1)																																		
			実習																																		
	循 環 動 態 に 係 る 薬 剤 投 与 関 連	共通して学ぶべき事項	共通講義(8)																																		
		持続点滴中の鎮痛輸液又は電解 質輸液の投与量の調整	講義(3)																																		
			演習(1)																																		
			実習																																		

2) 循環動態に係る薬剤投与関連

研修期間 2025年10月1日～2026年9月30日（共通科目含む）

研修時間 30時間（講義・演習・試験）

科 目		総 時 間	研修内容 (時間数)	4月												5月												6月												7月												8月												9月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
																																																																修了式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
循環動態に係る薬剤投与関連 区分別科目	共通して学ぶべき事項		講義 (8)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

Ⅲ. 募集人員

1. 術中麻酔管理領域 4 名
2. 循環動態に係る薬剤投与 4 名

Ⅳ. 受講資格

次の要件を満たしていること

1. 看護師免許を有すること
2. 看護師の免許取得後、通算 3 年以上の実務経験を有すること
3. 看護師賠償責任保険に加入していること

Ⅴ. 履修免除

当院又は他指定研修機関が実施した看護師特定行為研修において、既に共通科目の受講を修了しており、かつ履修免除を希望される場合、履修を免除することができます。また、区分別科目においても、既に履修が修了している特定行為が本研修項目に含まれる場合、履修を免除することができます。

Ⅵ. 出願手続き

1. 出願期間

2025 年 8 月 1 日（木）～2025 年 8 月 30 日（金）

※定員になり次第募集を終了いたします。

2. 出願提出書類

当院ホームページからダウンロードするか、出願書類提出先（看護師特定行為研修事務局）に郵送を依頼してください。

- ☐ 受講願書
- ☐ 履歴書
- ☐ 推薦書
- ☐ 看護師免許証の写し
- ☐ 看護師賠償責任保険契約控えの写し
- ※既取得科目の履修免除を希望する方
 - ☐ 履修免除申請書
 - ☐ 看護師特定行為研修修了証の写し

3. 出願方法

出願書類に必要事項を全て記入し、郵送または持参してください。

4. 出願書類提出先

〒943 - 8507 新潟県上越市大道福田 616 番地
上越総合病院教育研修センター 看護師特定行為研修事務局

(代表電話) 025-524-3000
(メールアドレス) fuku-bucho3@joetsu-hp.jp

5. 出願上の注意

- 1) 出願書類は、署名および捺印以外はパソコン入力可能です。手書きの場合は、黒のボールペンを使用してください。
- 2) 出願書類に不備がある場合は、受付できません。
- 3) 出願書類の記載内容が事実と相違する場合は、受講許可後であっても受講許可を取り消すことがあります。
- 4) いったん受理した出願書類は、理由の如何を問わず返還しません。

VII. 選考方法

1. 書類審査
2. 面接（面接日時等は別途ご案内します）

VIII. 合格発表

面接後3日以内に事務局よりメールにて報告します。合格者には「合格通知書」と「上越総合病院看護師特定行為研修ハンドブック」を郵送または手渡しでお渡しします。

IX. 入講手続き

入講オリエンテーションを行います。オリエンテーションの日程は、合格発表時に合わせてお伝えします。

1. 納付金

- 1) 入講料 20,000 円
- 2) 授業料 共通科目：410,000 円
区分別科目（術中麻酔管理領域）：160,000 円
（循環動態に係る薬剤投与）：80,000 円
※履修免除を受ける場合、共通科目のみ講義受講料を免除します。

2. 納付方法

合格発表後「合格通知」と共に、納入通知書を送付します。指定した期日までに納付してください。

X. 個人情報の取り扱いについて

出願および受講手続きにあたって提供いただいた個人情報は、書類選考や入講手続き等の必要な業務において使用させていただきます。当院が取得した個人情報は、本人の承諾なしに第三者に開示・提供することはありません。

XI. 出願・試験・その他選考に関する問い合わせ

〒943 - 8507 新潟県上越市大道福田 616 番地

新潟県厚生農業協同組合連合会 上越総合病院教育研修センター

「看護師特定行為研修事務局」担当：齋藤恵子

（代表電話） 025-524-3000

（メールアドレス） fuku-bucho3@joetsu-hp.jp